

## 令和3年度第3回図書館協議会議事録

令和3年度第3回図書館協議会は、新型コロナウイルス感染防止対策として、対面方式の会議を開催せず、書面のやりとりを通して意見と回答を交換して議事録まで作成する一連の流れを1回の会議として行った。

以下、この方法による会議を書面会議という。

### 1 第3回会議の流れ

資料送付	令和4年3月9日(水)
委員からの意見提出期限	令和4年3月22日(火)
議事録作成	令和4年3月25日(金)

### 2 出席者

(委員)

押樋委員長 西村副委員長 遠藤委員 沼委員 梨本委員 高橋委員  
松本委員 館委員 澁谷委員 堀内委員

### 3 議事

下記議題については、書面会議として資料に基づき、委員から提出された意見・質問に対して回答を行った。その内容は別添のとおり。

#### 報告事項

- (1) 令和3年度図書館自己点検評価について
- (2) 令和4年度図書館事業計画について

#### 協議事項

- (1) 電子書籍導入の方向性について

(別添)

令和3年度第3回浦安市図書館協議会  
意見・質問及び回答一覧

報告事項

- |                        |      |
|------------------------|------|
| (1) 令和3年度図書館自己点検評価について | 1～3P |
| (2) 令和4年度図書館事業計画について   | 3～6P |

協議事項

- |                    |      |
|--------------------|------|
| (1) 電子書籍導入の方向性について | 6～7P |
|--------------------|------|

(1) 令和3年度図書館自己点検評価について

	自己点検評価については、次のとおり、ご意見・ご感想等をいただきました。 今回いただきましたご意見につきましては、令和4年度の事業及び自己点検評価 において、参考とさせていただきます。
	ご質問・ご提案・ご感想
	自己点検評価全般について
1	・全体に適切に自己点検評価が行われていると考える。
2	・各項目について示された改善の方向性は妥当と思われる。
3	・既存のサービスの質の向上、新規のサービスの導入と大変意欲的に運営してい ると思う。今後も多くの市民が親しみ、訪れる図書館であり続けてほしい。その ためにも、永く継続できる取組を考え、行うことが大切であると思う。
4	・全体的に量的指標、質的指標のいずれも達成に向けて高い水準だと思われ、コ ロナ禍でも職員の皆様の努力と工夫の賜物だと思われる。ただ、コロナ禍での傾 向によっては今後量的指標と質的指標のいずれの項目の変更が必要になってく ると思う。
5	・各項目に対して、全て高い評価になる。コロナ禍でサービスが難しいなか、成 果を出していると思う。
6	・「報告事項2」にある「今年度の重要課題」と「評価」が連動していないよう に見受けられる。評価が「事業」評価のためと思われるが、重要課題とした課題 がどの程度、達成できたのか、達成できなかった原因はどこにあるのかなども自 己点検評価の対象にすべきと思う。
7	・「自己点検評価」や「基本方針」などをHPで確認しようとしたが、なかなか 探せなかった。「図書館報・図書館概要」にあるのを何とか見つけた。トップペ ージの見出しを再考するか、別に項目を立てるかして、市民にも探せるようにし てほしい。
	1 障がい者サービス
8	・取り組み内容の要約をポスター化し、全館内で常設掲示を行ったらどうか。
9	・高齢者に対する読み聞かせの楽しさをより促進し、老人会や介護ホームなど との協働で浦安図書館の新規サービスとして打ち出してはどうか。
10	・地方公共団体による読書バリアフリーの計画策定はバリアフリー法（第8条） でも求められている。今後、計画策定の検討を期待する。
11	・対面朗読については、最近、ビデオ会議システム等を活用しリモートで実施す ることが増えている。今後、検討してもらえたらと思う。
12	・令和3年4～9月の対面朗読キャンセル数18がコロナ前と比較して多いか不 明だが、今年度はコロナ感染症の影響があったと考えられ、早い収束が待たれる。 また、サービスの向上のために利用者にアンケートをとるよう是非ご検討いただ きたいと思う。

13	・障がい者サービスは主に視覚障がい者を想定しているようだが、身体障がい者や足腰の弱った高齢者にとって図書館が使いやすいものになっているかもクローズアップすべきだろう。
14	・障がい者福祉課、高齢者福祉課とのサービス、支援の強力な持続連携を期待している。
	2 子ども読書活動の推進
15	・読書通帳の登録件数が目標の63%程度ということ、是非来期は多くの子ども達が登録するよう新たなPRの方法などを考えてほしいと思う。
16	・子ども読書活動の推進における学校・園との連携強化については、図書館との人的交流をいっそう進めていただきたい。
17	・読書通帳はとてもよい試みだとは思いますが、小学校高学年中学生などの利用者は少ないのではないかと思う。やはり学校との連携が不可欠かと思う。PTA、もしくは学校の司書さんにお問い合わせすれば定期的に読書通帳のお知らせを配付することは可能だと思う。そして子供が対象であるので、通帳がたまったらなにかいいことがあるというメッセージがあると楽しみながら図書館に通ってくれるかもしれない。たとえばしおりや中央図書館カフェのドリンクチケットや、本を10冊以上借りられるプラスアップチケットなどが図書館通いのモチベーションにつながりそうである。
18	・英語の絵本の読み聞かせはぜひ検討していただきたい。CD付きの絵本の貸し出しなどもできればよいのではと思う。
19	・図書館自己評価によると職員の研修を行いスキルアップを図ったとあるが、そういったスキルをぜひSNS上や配付物などで公開して、より開かれた図書館を作してほしい。
20	・読書通帳については、ある一定の冊数を満たすと何かしらのインセンティブがあると読書のモチベーションになるかもしれない。
	3 レファレンス・サービス
21	・職員の能力向上の一環として、特色ある企業図書館や専門図書館への視察研修を積極的かつ定期的に推進すべきである。さらに企業ショールームや自治体の各種博物館や研究施設へも出張視察を行い、百聞は一見を実践してほしい。
22	・レファレンス室を閉鎖していた9月の利用数の減少から、対面が重要であることがわかる。一方電話やインターネットでのレファレンスが周知されていたのか？とも思う。平常期から対面でなくてもレファレンス可能なことをPRする必要があると感じた。
23	・レファレンスに関しては、傾向がわかれば対策を立てやすくなるだろうから、どのような問い合わせが多かったか、整理してみるとよいのでは。
24	・レファレンスサービスは大変優れているが、貸出の多い書物に手垢、汚れにより、借りるのに躊躇する。

	4 情報発信
25	・コロナ禍にあつて、様々なツールで情報を発信する必要が生まれた。チャンスととらえ、色々な方法で情報を発信していただきたい。
26	・情報発信については、まず図書館がどんなところでどんなことを行っているのか、浦安広報番組、インターネット、館内での講座などを利用して、現場の職員が紹介する機会が増えればいいと思う。
27	・情報発信については、まず図書館がどんなところでどんなことを行っているのか、浦安広報番組、インターネット、館内での講座などを利用して、現場の職員が紹介する機会が増えればいいと思う。
28	・情報発信はこれからも一層、子供たちから高齢者まで届くようにお願いしたい。
29	・スマートフォン対応検索画面はとても使い易い。いろいろな情報が簡単に得られ、レファレンス受付は書き込み易く、特にMyリストが便利である。

(2) 令和4年度図書館事業計画について

	ご質問・ご提案・ご感想	回答
1	・基本方針と重点課題の関係が分かりにくい。説明がほしい。	「基本方針」は、市の施政方針を踏まえ、図書館運営に対する考え、目標を挙げたものです。全ての事業はこの方針を実現するためのものですが、その中で課題となっていることの解決・改善が必要なこと、先送りせず取り組んでいく必要があるものを「重要課題」として掲げたものです。
2	・基本方針の元にその年度の重点課題を決めると思われるが、必ずしも対応していないように見受けられる。	基本方針は全体像を示したものであり、事業全体の中で特に重要な課題として取り組むのが「重要課題」です。
3	・コロナ禍で難しい面もあるかと思うが、今はオンライン研修もあるのでぜひ職員の方々の研修、人材育成に力を入れてほしい。スキルの高い職員の方がいるからこそ浦安の図書館は全国でもトップレベルの図書館であることができていると思う。	職員研修については、オンライン開催形式等、従来の集合研修以外の形式のものについても、機会を見て可能な範囲で参加していきたいと考えています。また、経験を積んだ職員を講師にした全体研修も行い、全体のスキル向上を図ってきたいと思います。

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度も新型コロナウイルス感染防止対策は最優先だが、視聴覚教室などの利用にはタイミング良く的確な判断により、利用ができるようお願いしたい。</li> </ul>	<p>施設の利用や集会事業の再開については、市の方針に従うこととなりますが、制限解除となれば、活用していただきたいと考えています。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検評価にもあるように、情報発信は重要課題と思うので、様々なツールを利用して多角的に展開して欲しい。</li> </ul>	<p>今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信についてはホームページやツイッターでこまめにすると書かれているので、引き続きSNSを活用した取り組みに期待している。</li> </ul>	<p>継続して取り組んでまいります。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信に関連して、共生社会の実現に向けて、どのような取組があるとよいか、利用する人々にその人々の状況に応じた広く意見を聞けるシステムがあるとよい。(高齢者、障がいのある方、子育て世代には聴き取り、中高生にはSNSによるアンケートなど)</li> </ul>	<p>今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館によっては、計画を基本方針 — 施策の柱 — 具体的な施策、および数値目標のように体系立てて策定しているところがある。それを策定 — 実施 — 評価としてプロセス化している。今後、そうしたことを検討してもよいと思う。</li> </ul>	<p>中長期計画策定の手段として、参考にさせていただきます。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館運営中長期計画策定の取り組みは令和に入ってから、毎年、重点課題としてあがっているようだが、これまでに策定されていない。ぜひ、策定に向けて具体的に取組んでいただきたい。</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市の計画に従った事業を実施することができない状況が続いており、市の方針に変化があることも、実効性のある中長期計画の策定につながらないというのが現状です。新型コロナウイルス等の影響も踏まえながら、計画の策定について取り組んでまいります。</p>

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世代継承への取り組み」とは何か？具体的に表現できないか。</li> </ul>	<p>職員の年齢構成にばらつきがあることで、現在の係長以上の職員がまとまって退職となることが続くことになる。専門職としての経験を積むとともに、職階に合った知識、技能、行動を身に着けることも今後の図書館運営には必要であり、そのための準備として、職階別の研修や指導、人事交流に取り組むものです。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「世代継承への取組み」は、具体的にどんな事業展開を企画されているのか。</li> </ul>	<p>No.10 と同じです。</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代継承への取組みについて、中堅世代の減少は、従来型のオンザジョブ型の教育では育成が間に合わなくなるのは必須である。次世代を担う候補者に、様々な体験を最前線でいち早く体験してもらう事が肝心になるので、従来のカリキュラムのスピードアップがポイントとなる。</li> </ul>	<p>ご指摘のとおりと考え、取り組んでまいります。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代継承の取り組みは重要である。</li> </ul>	<p>ご指摘のとおりと考え、取り組んでまいります。</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども図書館計画についての言及はないのか。</li> </ul>	<p>子ども図書館計画については、令和4年度は計画延期の方向となりましたので、重要課題には載せておりません。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から児童へのIT活用について意見があったが、賛成である。よみきかせ、ストーリーテリング、ブックトーク、おすすめ本などの動画配信を希望する。経費の面で難しいと思うが、課題として残してほしい。</li> </ul>	<p>動画配信については、著作権の問題もありますが、情報発信の方法の見直し、改善の中で検討してまいります。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報から乗り遅れがちな高齢者へのサービスも、障害者サービスと共に考えてほしい。</li> </ul>	<p>情報発信の方法を検討する中で、格差が生じないように検討することが必要だと考えています。高齢者を特定したサービスについても検討してまいります。</p>

17	<p>・コロナ禍で難しいであろうが、ワークスペースで、科学遊びや児童生徒向けのイベントが出来るようになれば良いと思う。楽しそうなイベントをガラスの向こうから一般利用者が楽しくうかがえるような図書館が望みである。</p>	<p>新型コロナウイルス感染の影響で十分に活用できませんでしたが、今後さらに活用していくよう検討してまいります。</p>
----	---	--

(3) 電子書籍導入の方向性について

	<p>各委員からのご意見等は、次の通りです。次回の図書館協議会において、協議会としての御意見の取りまとめをお願いする予定です。</p> <p>御提案のあった追加の調査等につきましては、導入を検討する中で必要に応じ実施してまいります。</p>	
	<p>ご質問・ご提案・ご感想</p>	
1	<p>・浦安図書館の選書力が発揮できる充実したコンテンツであれば、かつ継続を見込んだ経費が確保できれば導入しても良い。しかし、利用者の最大要望であるベストセラー対応の不十分や、コンテンツの大部分がコミック分野である事、さらに児童向けの絵本が少ないなどを勘案すると、導入時期はまだまだと考える。</p>	
2	<p>・実作業された方々からのヒアリングを行ってはどうか</p>	
3	<p>・公共図書館の電子書籍の導入については、時期尚早と考えているが、一方、公的な機関として市民に多様な媒体を通じて、資料・情報などの提供をすべきとも考える。システムにかかる費用、コンテンツの数など懸案事項を考慮して導入に向けては慎重に検討してほしい。</p>	
4	<p>・コロナ関連の補助金もあり、多くの図書館で導入が進んでいるので、導入してもよいと思う。調査結果を見ると、タイトル数が少なく、ライセンス料が高いことが書かれている。また、システム改修が必要になること、結局利用が少ないことなどマイナス面も多くある（日本だけでなく海外でも同様）。一方で、従来図書館を利用しなかった人、できなかった人が利用するきっかけになる可能性がある。導入に際しては、複数自治体でコンソーシアムなどを組むと、利用タイトル数を増やせると思う。</p>	
5	<p>・資料から、電子書籍導入の必要性は低いと感じる。導入する場合の費用対効果を考えると費用がかさみ効果（利用者が少ない）がない。しかし、数は少ないが計画予想よりも利用が多い図書館もあり、そこにはどんな理由があるのか調査する必要があると思う。</p>	



6	<p>・現時点では、図書館向けコンテンツの少なさ、システム更新への負担など課題が多く、導入を急ぐべきではない印象。ただ、中長期的にはやはり電子化が進むだろうから、電子書籍に関する動向を引き続き見守る必要はあるだろう。</p>
7	<p>・アンケート結果によると電子書籍についてはサービスを終了したり、内容を変更したりしている図書館がいくつかあり、成功している図書館があまりない印象である。高齢者や小さい子供など図書館によく通われている方々は特に電子書籍を利用することはあまりないのではないかと感じる。またコンテンツ数が少ないことで、一般の有料の電子書籍とはずいぶんと差があり、コストにみあっていないと感じる。コンテンツ数が要となる電子書籍において現状のままこのシステムを取り入れることは読書推進という面からは効果が薄いと思う。</p>
8	<p>・予算のないところ揃えられる数に限りがあり、貸し出し回数も制限があるというデメリットや他市の現状がよくわかった。導入するにはターゲットを絞った層の書籍になるだろうし、もっとニーズを探る必要があり、デメリットを克服するだけの価値があるのかなど熟考すべきである。時間をかけて考えてもよいのではないかと感じる。</p>
9	<p>・アンケート結果を確認すると、電子書籍を図書館で扱うには環境面や規制などが整っていないと感じる。紙ベースの図書と同様のものを指すのではなく、対象を絞ってスモールスタートの方が良いと思われる（ただし、予算面と費用対効果の問題はある）。テスト的に一定期間導入してみるというのも今後の方向性を決める一つの手段だと思ふ。</p>
10	<p>・現状は困難な問題が山積しているようだが、将来を見据えての電子書籍導入提供サービスは続けてほしい。</p>
11	<p>・電子書籍導入への市民の要望はどの位あるのか。常にゲーム機やタブレットを手放さない子どもたちを見ていると、電子書籍に抵抗を感じないだろうと思うが、ゲームや動画に夢中になっている子どもたちが電子書籍を利用するかという疑問を感じる。</p>
12	<p>・アンケートに中年の利用者が多いのは通勤時に利用していると思われる。働き盛り年代の需要は高いと思う。しかし、早急の導入ではなく、経費の面を考え、ゆっくりじっくり時間をかけて考え、導入して行く方がよいと思う。</p>